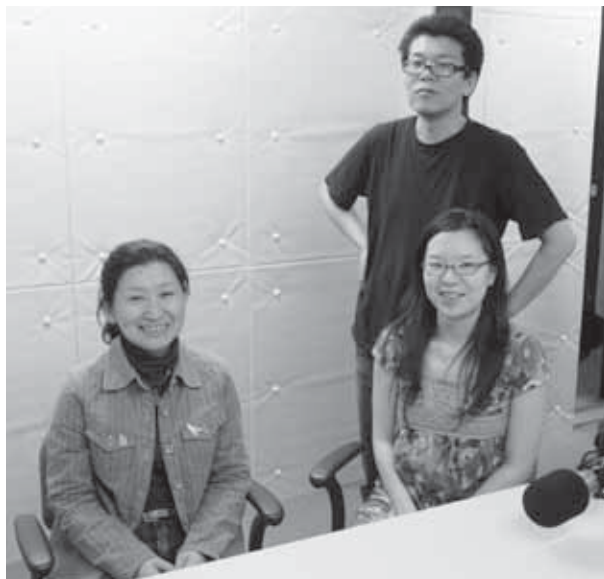


日本に残る最後の ラジオ局を目指す！



後 中原 秀樹 さん
Hideki Nakahara

左 幸田 慶子 さん
Keiko Koda

右 山下 弥生 さん
Yayoi Yamashita

FM 鳥取
RADIO BIRD
82.5fm

3人の放送局

FM鳥取「RADIO BIRD」は、その放送周波数に合わせて、昨年の8月25日に放送を開始。本市のほか市内の各種事業者が出資して設立した、鳥取初のコミュニティ放送局で、地域の話題や身近な情報をはじめ、天気予報、交通情報など市民の生活に密着した情報を放送しています。

この放送局のスタッフは3人。局長の中原秀樹さん、放送部長兼チーフアナウンサーの幸田慶子さん、営業企画部長兼アナウンサーの山下弥生さんです。中原さんと幸田さんは兵庫県出身で、山下さんは岡山県出身。みなさん鳥取での仕事は初めてでしたが、開局までの準備で何度も鳥取に通う中で、土地がらにも慣れていき、特に不安はなかったようです。

ラジオ好きの父の影響で、子どものころからラジオがとっても身近な存在だったという局長の中原さんは、中学生のころには聞くだけでは満足できず、自宅から1時間30分かけて神戸にある放送局へ出かけて行くほど、大のラジオ好き。大阪の大学に入学してか

らも、学業のかたわら、DJや番組制作にたずさわるなど、いくつもの放送局で制作スタッフをしていたそうです。卒業後は、家電製品の販売会社に一度は就職したものの、大好きなラジオの仕事が忘れられず、放送局の仕事に返り咲き、有名な番組も手掛けられたそうです。

そんな中原さん、番組の制作にとどまらず、放送局そのものを自分の手で白紙の状態からフルデザインしたいと思っていたところ、この鳥取FM開局の話が舞い込み、今に至ったそうです。

スタートは上々

今までいくつかの放送局でのキャリアを持ち、主にアナウンスを担当する幸田さんは、「最初の2、3カ月は初め



《4月の番組ガイド》

..... 鳥取市行政番組

放送時間が変わりました！

《放送開始時間》

① 6:00	② 7:00	③ 8:00	④ 9:00	⑤ 10:00
⑥ 11:00	⑦ 12:00	⑧ 12:30	⑨ 13:00	⑩ 14:00
⑪ 15:00	⑫ 16:00	⑬ 17:00	⑭ 18:00	⑮ 19:00
⑯ 19:30	⑰ 20:00	⑱ 21:00	⑲ 22:00	

(放送終了後、次の番組開始までは静止画文字放送)

『こんにちは鳥取市です』【放送】毎週火・金・土

週2回の番組で、鳥取市の施策や事業の取り組み状況、各種行事、お知らせを紹介します。

【特集】

- ▷ 2009 鳥取・因幡の祭典
- ▷ 今年度の主な事業と予算
- ▷ 市民 Q & A
- ▷ ふれあいウォーキングマップ
(気高・青谷地域)

このほか、盛りだくさんの新しいコーナーがスタートします。



静止画文字情報『鳥取市からのお知らせ』



イベント・募集・相談などの各種お知らせを、文字画面と音声でご案内します。

..... いなばぴょんぴょんネット
自主制作番組

《放送開始時間》

① 6:30	② 7:30	③ 8:30	④ 9:30	⑤ 10:30
⑥ 11:30	⑦ 12:30	⑧ 13:30	⑨ 14:30	⑩ 15:30
⑪ 16:30	⑫ 17:30	⑬ 18:30	⑭ 19:30	⑮ 20:30
⑯ 21:30	⑰ 22:30			

農業番組『いなばアグリタイム』【放送】毎週水・木

二十世紀梨の交配作業やラッキョウの生育状況、また水稻育苗のポイントなどをお送りします。

『とっとりウォーキング』【放送】毎週日・月

入学式や入園式、用瀬流しびなをはじめとする各地の春の祭りの様子をお送りします。

放送曜日が変わりました！

手話番組『手話でコミュニケーション』【放送】毎週日・月

《放送開始時間》7:00、10:00、13:00、18:00、21:00

鳥取市の各種行事やお知らせを手話で紹介します。

情報をお寄せください！

いなばぴょんぴょんネット ☎ (0857) 22-6111

※放送予定は予告なく変更することがあります。

番組はホームページでも紹介しています。

<http://www.inabapyonpyon.net>



の土地で、リスナーに受け入れていただけるかとても不安でした。どんなカラーでいけばよいか探りながら話していたので、マイクへ向かうのにも知らず知らずのうちに力が入っていたようです」と開局間もないころの様子を振り返ります。今では自然体でマイクに向かうことが一番良いと感じ、ようやく自分のテンポがつかめてきたそうです。

営業とCM(コマーシャル)制作を主に担当している山下さんは、「何よりもCMの効果を求めるクライアント(広告主)の思いと、それを受け入れる側のリスナーの感覚とのバランスをとるのが難しく、自分の作ったCMの評価に、最初はドキドキしていました。最初はドキドキしていましたが、放送を聞いたお客さんからの良い反応に、なじんでいるなあ」とうれしく思っています。鳥取のみなさんには、いろんな意味であたたかさを感じ、来てよかったと思います。毎日が忙しく、自分の時間がなかなか持てないけれど、仕事でのみなさんとの出会いがプライベートのよう楽しくて、生きている実感を感じながら仕事をしています」と元気いっぱい

「鳥取スタイル」の確立

笑顔を見せてくれました。放送を始めて心配していたリスナーの反応も上々のよう、その年齢層も20代後半から60代まで幅広く聞いていただいているようです。

中原さんは鳥取について、「アメリカの地方都市にラジオが似合うように、コミュニティ放送局にマッチしたコンパクトな街、鳥取に魅力を感じている」とおっしゃいます。また、RADIO BIRDについて、「目先だけの面白さではなく、鳥取のみなさ

んの日常に自然に溶け込み、役立つような「鳥取スタイル」の放送を確立したい。最近、インターネットの普及が進み、ラジオ局が減少傾向にある中、30年はオン・エアし続ける放送局づくりという人生を賭けた大事業です。目指すは日本で最後のラジオ局！と、この放送局にかけろ思いを語られます。

鳥取の街には、今日も鳥のさえずりのように「RADIO BIRD」の放送が流れています。

3人の夢を82.5MHz(メガヘルツ)の電波に乗せて...